

ソデイカ釣漁具、漁法について

長 嶺 巖

1. ソデイカの特長

ソデイカは、外套長70cmを超える巨大イカで、体重は20kg以上になる。生息範囲は、文献によると邦暖海沖合、日本海西部を含む世界の温熱帯海域となっている。

肉質はやわらかく、肉厚もあり全体重に占める割合は、頭部が22%、外套部が78%で、肉の歩留りも他のイカ類に比較して一番よい。スシのネタや刺身に最適である。

ソデイカは、沖縄地方名をセーイカと呼び、8月～10月のトビイカ漁期に夜間操業でたまに漁獲される程度であった。

2. ソデイカ釣漁具漁法の導入経緯

日本でソデイカ漁業が盛んな地域は兵庫県日本海側但馬地方である。但馬地方でソデイカ漁業が始まったのは1962年からである。

沖縄県では、1974年（S49年）8月糸満漁協喜屋武漁業研究会が兵庫県津居山港漁協に底延縄漁業先進地視察したさい、ソデイカ釣漁法も導入し水産業改良普及員金城 宏と、研究会のメンバーで漁具を製作、粟国島沖で試験操業を実施したが、漁獲はなく失敗に終わった。

釣れなかった理由は、兵庫同様に漁具の水深を100mにしたこと、延縄方式で操業したことが考えられる。（現八重山支庁水産係長金城宏談）。そのときの試験は1回の操業で、その後は試みなかったものの知念漁協や久米島漁協では、トビイカ漁期にわずかに混獲されていた。

1989年9月に久米島漁協の上原幸一組合長が、県水産試験場の紹介で兵庫県の脇漁具（株）からソデイカ釣漁具を購入し、一部改良を加え真泊港沖合の400m～500mの深海で操業した結果、大量の水揚げがあった。これが沖縄県におけるソデイカ釣の始まりである。

久米島漁協が改良した漁具構成は、つぎの通り。

改良点 (1) 漁具の幹線を300m～400mに伸ばした。

(2) 深海に対応するため水中灯を使用した。

(3) 自動釣機で巻揚げできるよう連結部分にフックを利用した。

(4) 海底地形をカラー魚群探知機で確認し漁具を100m前後海底から上げて操業した。

この改良点は、日本海で行われているソデイカ漁業が2人操業であるのに対し、1人でも操業ができるように改良した点である。

その後、普及所が久米島漁協の協力を得て、平成2年2月糸満漁協青年部に普及した結果、沖縄本島周辺、八重山海域でも大量に漁獲されるようになった。各漁況の水揚げ状況は、別表1の通り。

3. 漁具、漁法について

(1) 浮流し方式

県内で使用されているソデイカ釣漁具は、久米島漁協で使用されている①浮流し漁具、②ポイント釣漁具が基本である。

ここでは糸満漁協所属船が使用している漁具、漁法を紹介する。

まず、別図1の漁具構成を参照

このソデイカ釣漁具は、標識旗、標識浮、幹縄、沈子枝縄、疑餌針に5区分して漁具をつくり別々に収納する。

使用する時は、各漁具間を簡単に連結できるよう区分先にフックやスナップを取付けてあり操業開始時には、順番に連結して漁具を投入する。

漁具を船上にとりこむ際は、自動釣機に付けたハワイフックで幹縄を連結しゆっくり巻あげる。1つの漁具を水深500mから巻上げる時間は約25分である。漁具の収納方法は、5区分して収納する。

自動釣機が1台あれば、巻取りドラム1個につき500mの幹縄が3漁具まきとれるので、1隻1人乗り漁船で5～6漁具使用する場合は、ドラムを2個使用すれば操業は十分できる。

また、ベビーホーラーやラインホーラーを使用する場合には、巻取回転数を落して20分程度に巻揚げる。

漁具の収納は、幹縄は巻揚げながら収納カゴに収納し、そのほかの区分漁具は切り離して別の収納カゴに収納する。

(2) 操業方法

漁場のポイントを海底地形図であらかじめ決定してから出港する海底地形図の見かたは、海底谷がある急斜面の地形で入江状の先が良い漁場である。

漁場に到着したらすぐに魚群探知機で海底地形を確認し、水深、潮流をみながら、潮上から順次漁具を投入する。

漁具の長さは、水深600m以上	漁具 500m
” 600m以下	水深マイナス100m

1人操業の場合、漁具は6漁具が適当で、漁具間が長いと見失なうし、短かいともつれが発生する。400m～500mが適当とおもう。

漁具投入後、イカが掛ると、浮のポリタンが垂直にたつので、すぐに巻上機で船に寄せ、手かぎで尾部をかけて船上にとりこむ。ヒレ（外套膜）をかけると外れるので注意をようする。

巻上時間は、1漁具当り20分～25分、イカが釣れていない漁具は、流出とポイントずれをおこさないため、最後の漁具を投入後30分経過と潮上りしながら回収し、再度投下する作業を繰り返す。

操業時間は、夜あけから日没までで、現在夜間操業は行われていない。

4. 今後の課題

このソデイカ漁法は、久米島漁協が県下で初めて操業してから6箇月経過し、いまでは、全県下の漁業者に急速に普及しつつあり平成元年度の水揚げ高は、47トン金額にして53,952千円の実績をあげ、パヤオ漁業が不振の中、漁業経営の改善にはした役割は、おおきいと思います。

今後の課題として

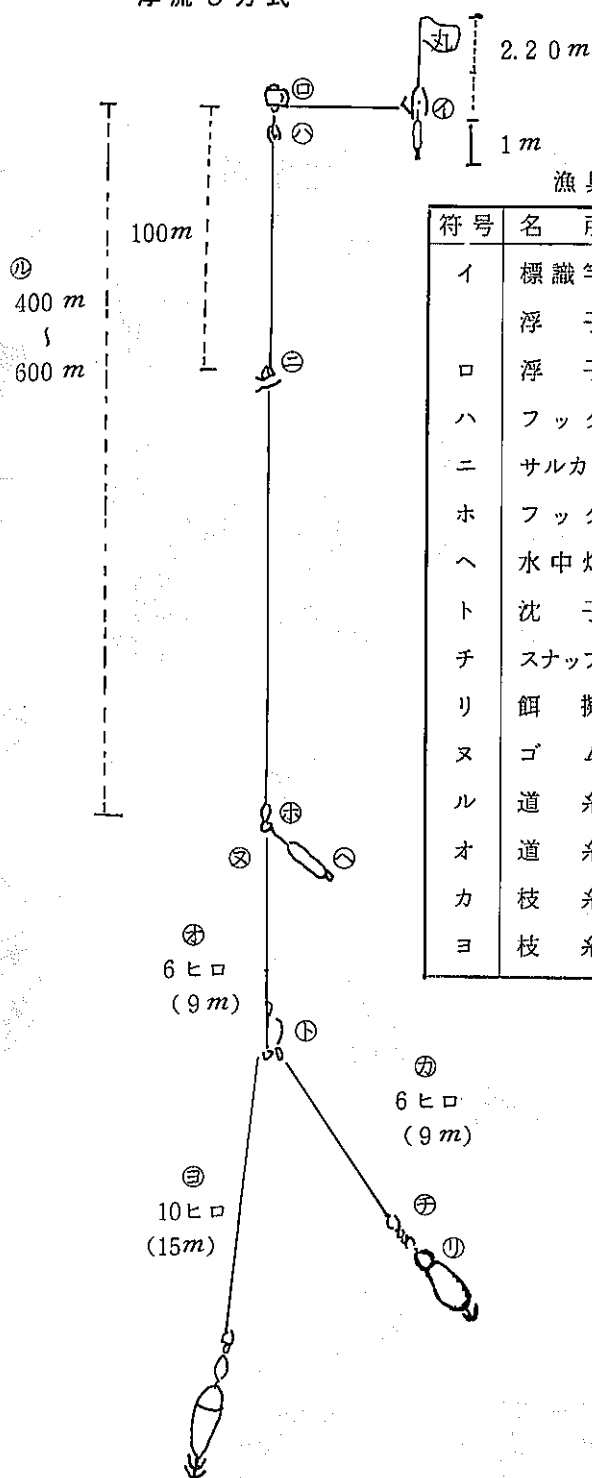
- (1) 喜屋武沖などに見られるように、1度大量に漁獲した漁場では、漁獲量が極端に減少し資源の回復が遅いようであり、試験研究機関が中心となって資源調査及び生態調査が必要である。
- (2) 現在、鮮度保持の面で、ソデイカを氷の上に並べる方法と、漁獲後すぐに、ビニール袋に入れて水氷漬する方法をとっているが、価格維持のためにも鮮度保持について検討が必要と考える。
- (3) 流通対策と地域特産品づくりのため、加工品等の開発が必要である。

参 考 文 献

日本陸棚周辺の頭足類

昭和49年年度普及報告……金城 宏

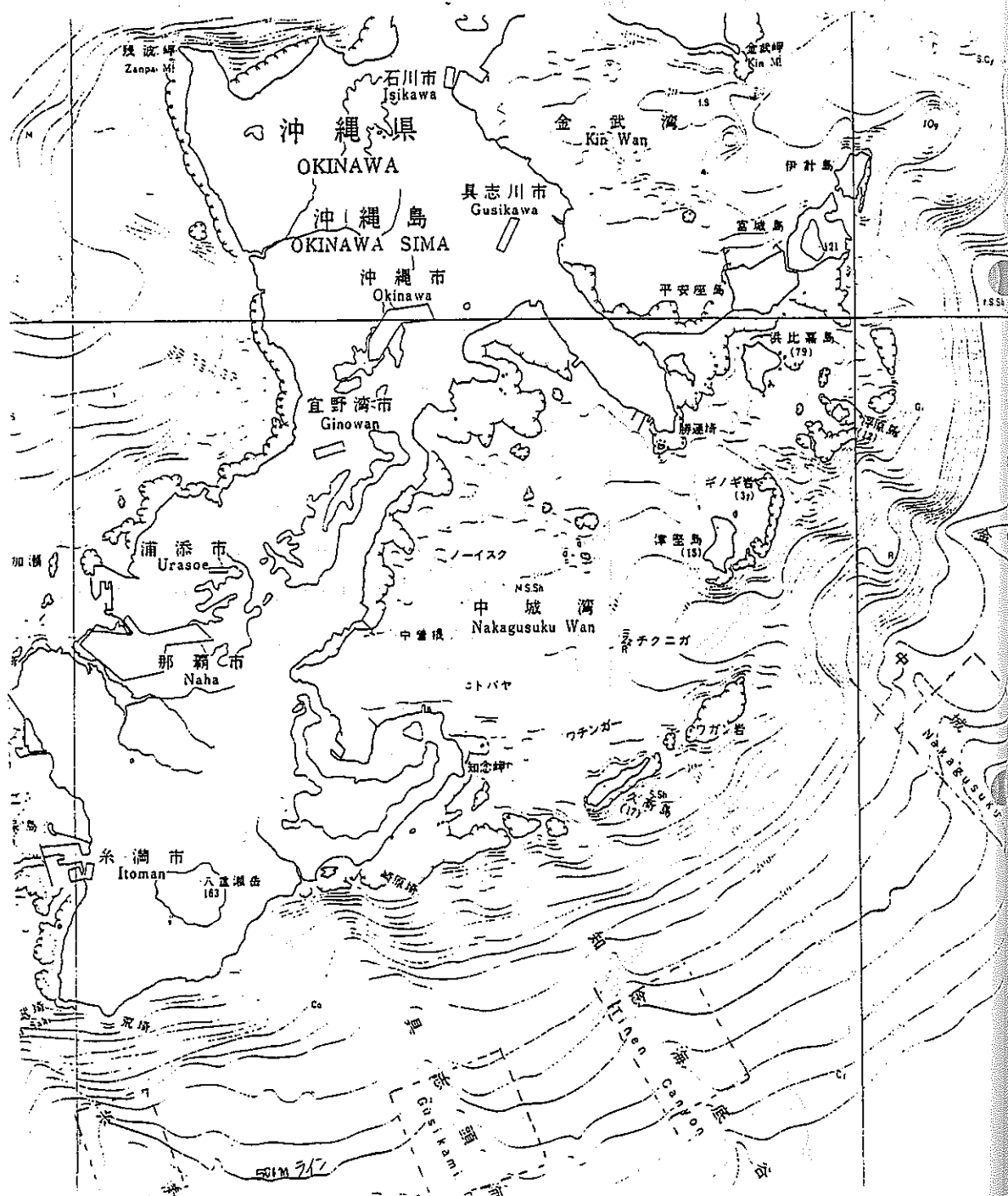
図-1 ソデイカ漁具構成図
浮流し方式



漁具の仕様

符号	名 所	品 名 及 び 規 格
イ	標 識 竿	竹 園芸用棚竿 2.5m
	浮 子	ビニコンG9T
ロ	浮 子	ポリタンクでもよい ライタック 6寸
ハ	フック	ハワイフック
ニ	サルカン	ビヤーリングサルカン 7号
ホ	フック	ハワイフック 大
ヘ	水中灯	水中ランプ 60 500M
ト	沈 子	月型鉛 100-110 匁
チ	スナップ	インターロックスナップ
リ	餌 擬	布巻赤テープ (綿入)
ヌ	ゴ ム	クッションゴム 4mm×2m
ル	道 糸	スーパートト40号 400m-600m
オ	道 糸	海力テグス 50号 9m
カ	枝 糸	海力テグス 50号 9m
ヨ	枝 糸	海力テグス 50号 15m

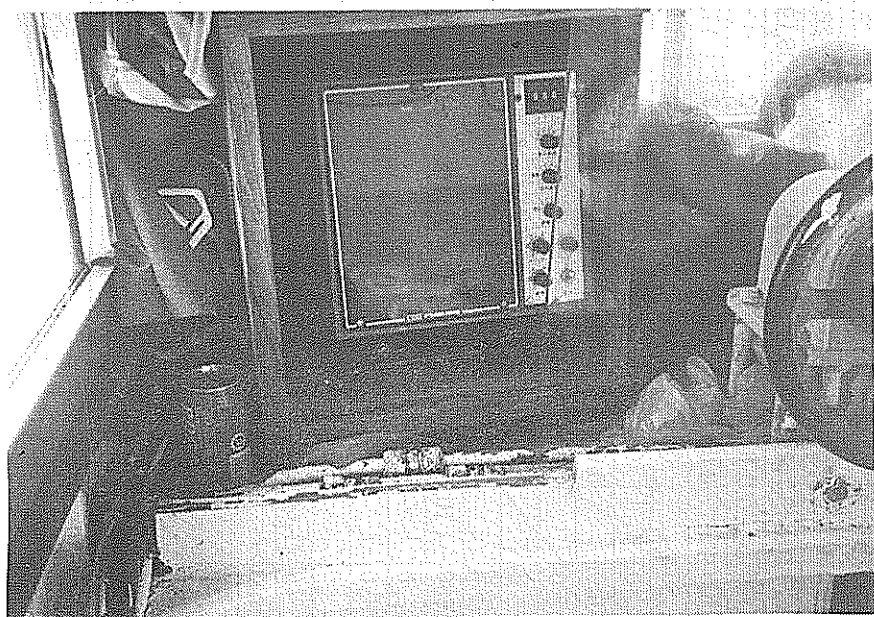
図-2 海底地形図から見たソデカ漁場
点線で囲んだ地形（参考）



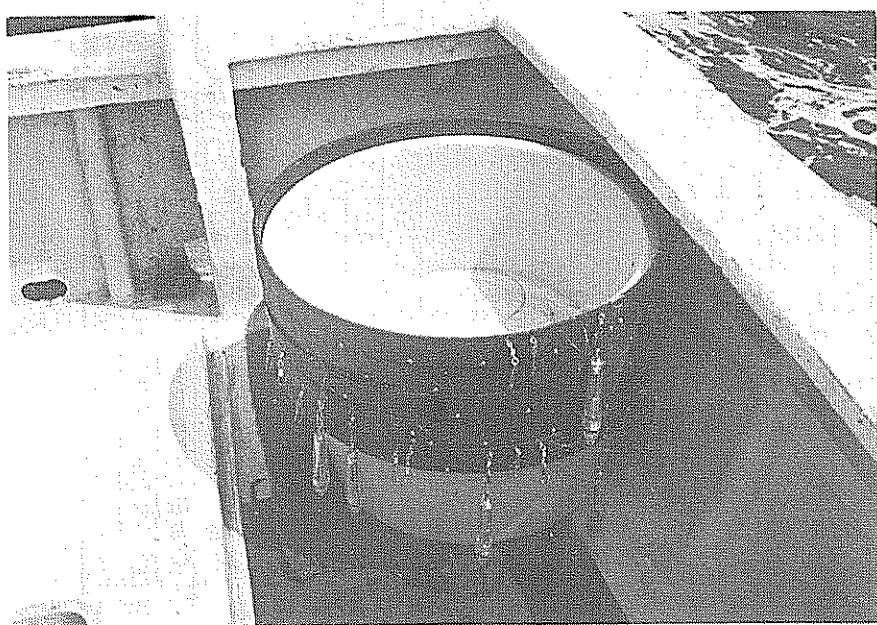
単位：本、kg、円

表1 ソデイカの水揚高 (平成元年度)

漁協名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
久米島 協 漁	本数	0	0	0	1	31	182	361	133	725	479	316	263	2,491
	数量	0.0	0.0	0.0	2.0	65.0	861.0	3,798.0	1,445.0	7,977.0	5,656.0	4,327.0	4,165.7	28,296.7
	金額	0	0	0	3,200	118,430	1,279,446	4,436,064	2,349,570	10,840,743	5,712,560	4,446,521	4,008,223	33,194,757
糸 漁 協	本数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	532	532
	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17,736.8	17,736.8
	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,600,844	19,600,844
港 漁 協	本数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	329	329
	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,515.9	6,515.9
	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,531,300	3,531,300
知 念 漁 協	本数	0	0	0	0	2	3	11	3	1	0	0	49	69
	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	20.5	28.8	124.0	43.7	8.3	0.0	0.0	751.6	976.9
	金額	0	0	0	0	37,925	40,320	223,200	78,660	10,790	0	0	601,280	992,175
国 頭 漁 協	本数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	128.5	128.5
	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165,195	165,195
八重山 漁 協	本数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	本数	0	0	0	1	33	185	372	136	726	479	316	852	3,100
	数量	0.0	0.0	0.0	2.0	85.5	889.8	3,922.0	1,488.7	7,985.3	5,656.0	4,327.0	22,782.6	47,138.9
	金額	0	0	0	3,200	156,355	1,319,766	4,659,264	2,428,230	10,851,533	5,712,560	4,446,521	24,375,542	53,952,971



カラー魚群探知機で水深、地形を探る

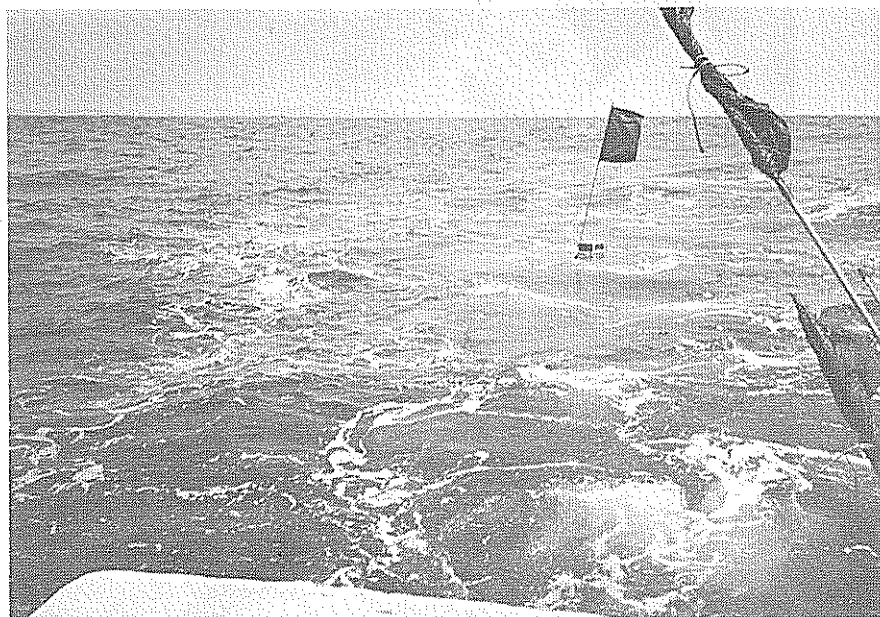


漁具の点検

水中灯はつくな



エギは水に漬してから使うともつれない



赤いポリタンクはイカがかかると立つんだ。



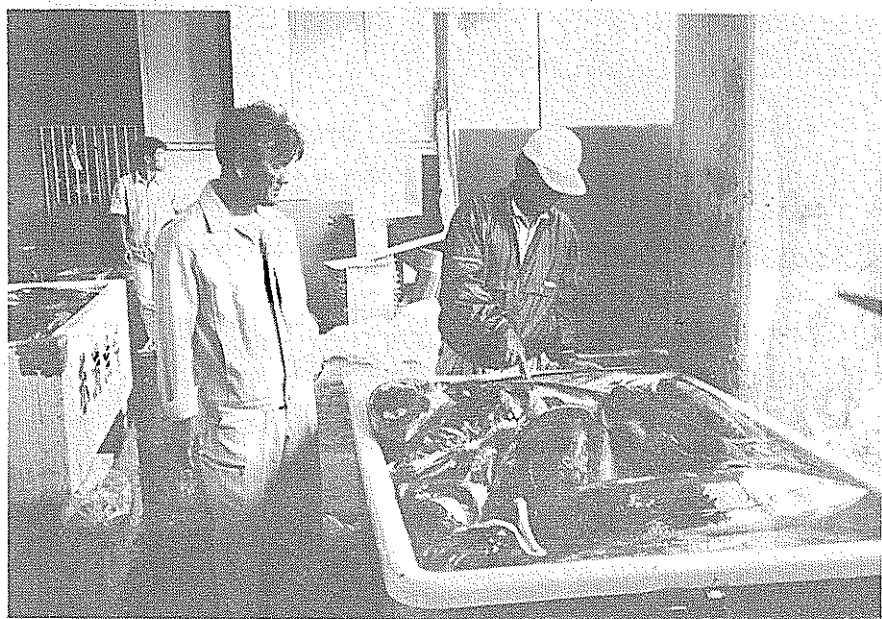
漁具の点検



糸満漁協青年部の上原正勝氏
漁具投入。さあ、イカが喰ってくれよ。



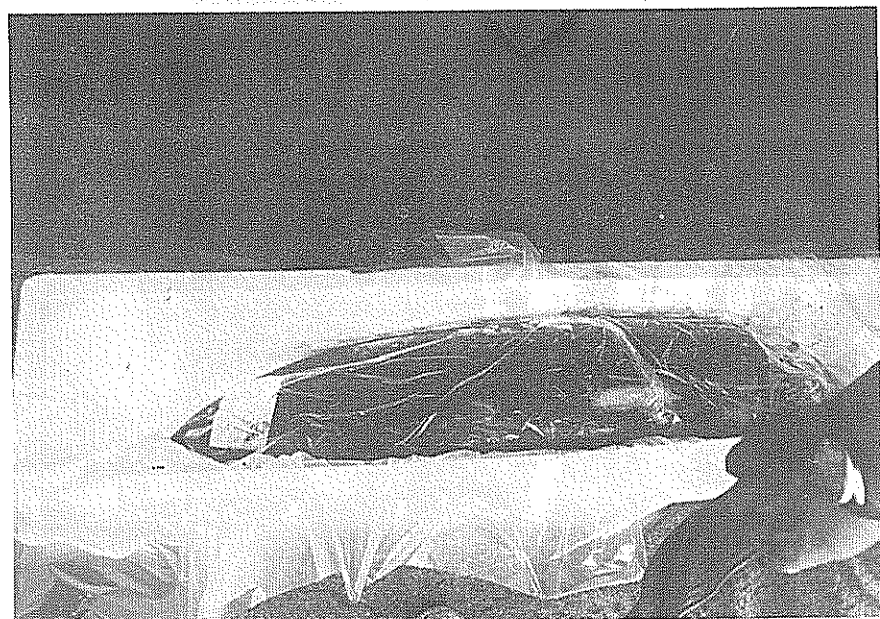
本土出荷準備。ハッポースチロール魚箱がほしいな。



2 隻分で、コンテナがいっぱいのソデイカ



1箱に2尾入れて、氷も3kg入れた。...



10kg入れの、スチロール製魚箱を2コつないで出荷。
20kg入れの魚箱がほしいな。